

令和8年度佐賀市全庁事務量調査業務委託 公募型プロポーザルに関する質疑応答集

番号 ※質問順	質問箇所	質問内容	回答
1	実施要領 5頁・① 提出書類 (押印不要)について	イ 企画提案(様式5を表紙とし、A4版で20頁以内の様式自由とする。)とありますが、表紙や目次は20ページに含まれますでしょうか。	企画提案のページ数については、様式5を表紙とするほか、本市が指定した様式以外で作成される部分はすべてページ数に含むものとします。したがって、様式5の表紙はページ数に含めませんが、目次を含め、任意に追加した資料は全てページ数に含まれますのでご注意ください。
2	実施要領 1ページ 1. 業務の目的について	本業務の目的について、「BPRの手法の導入による業務の効率化を図るため、その取り組みの基礎データとして全庁的な事務量調査を実施する」とあります。本業務の位置付けについては、①BPRについては既に一定の取り組みがなされており、各業務に対する見直し内容を具体的に示すための事務量調査なのか、②次年度以降BPRを導入し業務改革を進めていくために、各業務の課題の整理と課題解決に向けての取り組みの方向性を整理するための事務量調査を主眼としているのか、ご教示ください。	本業務は、今後BPRの手法を導入し業務改革を進めていくため、各業務の現状把握及び課題の整理を行うとともに、その解決に向けた方向性を整理するための事務量調査として位置付けるものです。 あわせて、本業務においては、分析結果に基づき、改善効果が見込まれる業務を5業務程度選定し、本業務において詳細調査及びBPRの実施に取り組むことを想定しています。 なお、本業務の成果を踏まえ、次年度以降のBPRの実施については、必要に応じて検討していくことを想定しています。
3	実施要領 6ページ 9. 提案方法等 (4)プレゼンテーション ④ 実施内容	プレゼンテーションにおいて、「資料は、提出した企画提案書とし、企画提案書をもとにプレゼンテーションを行うこと。」とありますが、企画提案書の要点を絞った追加資料や投影資料の活用は可能でしょうか。	プレゼンテーションは、提出された企画提案書に基づいて実施するものとし、投影資料についても提出した企画提案書と同一のものを使用するものとします。 したがって、企画提案書の内容を要約・整理した資料を含め、追加の資料の作成及び使用は認めませんのでご注意ください。
4	仕様書 1ページ 2. 業務の目的	「市の業務についてBPRの手法を導入し、業務の効率化を図る。具体的には、市が実施する業務について、業務量やプロセス等を可視化し、効果的・効率的な業務の遂行を妨げている問題点・課題を分析する。改善効果が見込まれる業務を選定し、業務プロセスの改革、アウトソーシング、デジタル活用を主軸として業務効率化手段を幅広く検討するとともに…」とあります。 本業務を遂行していくにあたり現況分析は重要なポイントになりますが、そのためには、以下の基礎資料が必要となりますので、提供いただけるのでしょうか ①施策評価表及び施策を構成する事務事業評価表、並びに、事務事業に関わる業務フロー図 ②上記以外の事務事業に関する評価表及び業務フロー図 ③公共施設総合管理計画に記述のアクションプランと令和6年度までの取り組み状況(進捗状況) ④公共施設白書の作成時に使用していると思われる施設カルテ ⑤DX推進方針に掲げる具体的な取り組み事項の取り組み状況(進捗状況)	本業務の実施に当たり必要となる基礎資料については、受託者と協議のうえ、業務遂行に支障のない範囲で本市が保有する資料を提供する予定です。 ご質問の各資料については、現時点での提供可否は以下のとおりです。 ①施策評価表及び事務事業評価表、業務フロー図 施策評価表及び事務事業評価表については提供可能ですが、すべての事務事業について作成されているものではありません。 一方、業務フロー図については、全庁的に統一されたものは整備されておらず、部署ごとの整備状況も限定的であり、網羅的に整備された業務フロー図は存在していません。 このため、存在するものについては提供しますが、網羅的な提供はできません。 ②上記以外の事務事業に関する評価表及び業務フロー図 保有しているものがある場合は提供しますが、網羅的に整備されているものではありません。 ③公共施設総合管理計画のアクションプラン及び進捗状況 提供可能です。 ④施設カルテ 提供可能です。 ⑤DX推進方針に基づく取組の進捗状況 提供可能な範囲で提供します。 なお、上記資料は本業務の参考情報として提供するものであり、業務フロー等については、必要に応じて受託者においてヒアリングや現地確認等により整理・可視化を行うことを想定しています。

令和8年度佐賀市全庁事務量調査業務委託 公募型プロポーザルに関する質疑応答集

番号 ※質問順	質問箇所	質問内容	回答
5	仕様書 2ページ 10. 業務内容 (2). 全庁事務量調査・分析 (3). 詳細調査の実施 (BPRの実施)	上記の事務事業評価表及び業務フロー図等の有無は各業務の実態把握のための調査内容に大きく影響しますので、提供の可能性についてご教示ください。 (3)②では、現行業務フロー図の作成及び課題の整理とありますが、事務事業評価表及び業務フローは未作成ということでしょうか。 未作成の場合は、本業務のなかで対応することを想定しているのでしょうか。本業務では現状分析と課題の整理、今後の取り組みの方法を提案し、次年度以降に本格的な制度設計に取り組むというイメージになるのでしょうか	事務事業評価表については、本市において一定の様式に基づき作成しており、提供可能です。 一方、業務フロー図については、全庁的に統一されたものは整備されておらず、部署ごとの整備状況も限定的であり、網羅的に整備された業務フロー図は存在していません。 そのため、本業務においては、既存資料を活用しつつ、ヒアリング等を通じて現状の業務プロセスを把握し、業務フローの整理・可視化を行うことを想定しています。 また、本業務の位置付けとしては、全庁的な事務量及び業務プロセスの現状把握並びに課題の整理を行うとともに、分析結果に基づき、改善効果が見込まれる業務を5業務程度選定し、詳細調査及びBPRの実施に取り組むものです。 なお、本業務の成果を踏まえ、次年度以降のBPRの実施については、必要に応じて検討していくこととしています。
6	仕様書 2ページ 10. 業務内容 (3). 詳細調査の実施 (BPRの実施) (5). 業務分析継続手法の提案	詳細調査の実施(BPRの実施)や業務分析継続手法の提案を行う前に、全庁事務量調査・分析を行うことが必須だと考えておりますが、貴市の中でイメージしている全体的なスケジュールや業務内容の実施順序等がありましたら、ご教示ください。	本業務の実施にあたっては、まず全庁的な事務量調査及び業務プロセスの把握・分析を行い、その結果を踏まえて、改善効果が見込まれる業務を選定し、詳細な分析やBPRの実施に向けた検討を行うことを基本的な流れとして想定しています。 具体的には、概ね以下のような進め方を想定しています。 ① 全庁事務量調査の実施(業務量・業務内容の把握) ② 業務プロセスの可視化及び課題の抽出 ③ 改善対象業務の選定(優先順位付け) ④ 対象業務に係る詳細分析及びBPR手法の検討 ⑤ 改善提案の整理及び実施に向けた方向性の提示 なお、上記は現時点での基本的な考え方を示したものであり、より効果的・効率的な進め方については、企画提案の中で具体的にご提案いただくことを期待しています。
7	実施要領 5. 事業スケジュール	「事業スケジュール」には提案書等の提出締切が「令和8年4月28日(火)」とありますが、「提出方法」の箇所では「令和8年4月28日(水)」とあります。曜日が正しいか、日が正しいかをご教示ください。	ご指摘のとおり、提出期限の曜日表記に誤りがありました。正しくは、提出期限は「令和8年4月28日(火)」です。 実施要領中の「令和8年4月28日(水)」の記載については誤りのため、「令和8年4月28日(火)」に訂正いたします。
8	実施要領 10. 選考結果の通知について	選考結果通知先として記載の「提案書表紙(様式6)」について、提出書類では「企画提案書(様式5)」とされていますが、様式6は別途存在する認識でしょうか。提出が必要な場合はご提示をお願いします。	ご指摘のとおり、選考結果の通知先として記載している「提案書表紙(様式6)」については誤記であり、様式6は存在しません。 正しくは、「企画提案書(様式5)」に記載された担当者宛てに通知を行います。 実施要領中の該当箇所については、「企画提案書(様式5)」に訂正いたします。
9	実施要領 9-(3)-①-イ-(j)	「成果物のイメージ」に「ダッシュボード等」の記載がありますが、仕様書上は記載がありません。こうした成果物のイメージは各事業者の提案に委ねられている理解でよろしいでしょうか。	「成果物のイメージ」に記載しているダッシュボード等については、仕様として必須の成果物を定めたものではなく、あくまで成果物の一例として示したものです。 したがって、具体的な成果物の内容や形式については、業務目的を踏まえ、各事業者の提案に委ねるものとなります。
10	実施要領 9-(3)-①-イ	企画提案書の「A4版20頁以内」について、表紙(様式5)・目次・添付資料は頁数に含まれますか。また、両面印刷換算が片面20頁かをご教示ください。	企画提案書のページ数については、様式5を表紙とするほか、本市が指定した様式以外で作成される部分はすべてページ数に含むものとします。したがって、目次及び添付資料についてもページ数に含まれます。 なお、ページ数は片面を1ページとして計算し、A4版20ページ以内で作成してください。

令和8年度佐賀市全庁事務量調査業務委託 公募型プロポーザルに関する質疑応答集

番号 ※質問順	質問箇所	質問内容	回答
11	仕様書 (3) 詳細調査の実施(BPRの実施)	詳細調査(BPR)対象の「5業務程度」の選定に関し、市として既に優先候補分野・対象所属・課題仮説等があればご教示ください。	詳細調査(BPR)の対象業務については、現時点において本市が特定の業務や所属をあらかじめ決定しているものではありません。 本業務において実施する全庁的な事務量調査及び業務分析の結果を踏まえ、業務量の多寡、課題の大きさ、改善効果の見込み等の観点から、優先順位付けを行ったうえで選定することを想定しています。 なお、選定にあたっては、デジタル化の余地が大きい業務や、業務負担が大きい業務など、改善効果が高いと見込まれる分野を中心に検討することを想定していますが、具体的な選定手法等については、企画提案の中での提案を期待しています。